

ケニヤに使用して (四)

—ケニヤの幼児教育—

一、ケニヤの幼児教育施設 ナースリースクール

ケニヤの幼児教育施設については前にも簡単にふれましたが、大体政府が地域発展の計画として、全国各地にナースリースクールを設置している他、都市においては市がこれを統一管理し、その内容向上のために努力しております。また教会やYWCAが伝道の目的や教育事業として、ナースリースクールを経営している例も少なくありません。そのほか、日本の鉄道弘済会のような組織団体が、その従業員の家族のためにナースリースクールをもっており、また、イギリス人の経営によるものも少なくない状態にあります。政府が経営するものはほとんどコミュニティセン

南 信 子

ターの職員がこれを監督し、幼児教育に関心をもつ若い婦人が先生として働いております。ほとんど教師の資格をもっておらず、中学校（小学校を含めて八年）を出ただけであったり、その上に政府が開講する三か月の家庭科のコースを修了していれば非常に重宝がられるといった現状であります。都市にあるナースリースクールも市の監督官が指導しておりますが、教師の学歴は同じような状態であるといえます。またま高等学校（四年）を修了し、さらに教師養成大学（二か年）を卒業し、小学校の免許状をもっている人が幼児教育にたづさわっている例を見ることがあります。私の助手をいたしましたのはその一人であります。

イギリス人の経営によるもの及びイギリス人の子どもたちのた

めのナースリースクールではほとんど看護婦の資格をもったイギリス婦人が校長であり、ナースリースクールの教師の資格をもった先生も少なくありません。

二、ケニヤのナースリースクールの目的と保育内容の諸問題

アフリカ人のためのナースリースクールはほとんど両親が登園働らきに出ている家庭の子どものためであり、日本の保育所の要素を多分にもっておりませんが、イギリス人の経営によるものやイギリス人の子どものためのもは幼稚園の目的をもっているものの方が多くあります。しかしいずれもナースリースクールとよび、保育時間も午後四時までのところも少なくありません。

YWCAのナースリースクールをモデルスクールに、という依頼をうけた私は、どんなナースリースクールがモデルであるべきかということについてはそうとう頭を悩ませました。

ケニヤはどんな人間像をえがいて人間を育成しようとしているのか。アフリカ人の気質といったものがあるとするれば、それはどんなものでその特徴や欠点は何であるのか。ヨーロッパ的な見方はアフリカ人を偏狭で好戦的で無知な野蛮人と見、精神構造は民族的に劣っていると評価するようでありますが、これはいったい真実であるのか。こうしたことが絶えず私の頭の中を往來した一年でありました。しかし私は、一か年の午前中はほとんどアフリカ

の幼い子どもたちと過しましたが、日本の子どもと比較して劣っているように考えることができませんでした。私には幸いに大
学出の助手が与えられておりましたので、知能テストや社会性の
テストなども試みる機会が与えられました。日本の私の幼稚園で
使用している玩具の数々をそのまま与えてその反応を比較してみ
たりもしましたが、個人差はあっても民族差はないことをしみじ
みと感じさせられました。

人間の持っている基本的欲求は全く同じであり、成長の原理も
基本的には共通性をもっております。しかし彼らを取りまいてい
る気候、風土、慣習、育てられ方など、広い意味の環境の相違が
人格形成にも行動様式にもアフリカ人としての特徴となつてあら
われていることは否めない事実であると思われれます。私が一か年
滞在中に日本の子どもや幼稚園と比較しておもに問題を感じまし
たことを幾つか次にあげてみたいと思います。

イ 自己表現

ケニヤの子どもたちは自己表現が乏しいことを感じました。こ
れは自己表現の媒介となる玩具材料に乏しく機会に恵まれていな
いというところからおこってくるように思われました。多くの子
どもたちは家庭で絵本をよんだり玩具で遊ぶことはほとんどない
ようであります。クレヨン、紙、はさみなどの絵画製作の材料など
もほとんど与えられず、非常に単調な生活を繰り返しているため



ふうせんで遊ぶ子ども

—先生も子どもも大よろこび—

り思考した
りすること
はほとんど
ありません
が、詩や歌
をきいて覚
えたりきい
た話を自分
のものとし
て話すこと
は非常にす
げれている
ように思い
ました。し

生活経験に乏しいことが大きな原因であるように思われます。ま
まごと、汽車ごっこなどのごっこ遊びも、日本の子どもたちにく
らべて非常に発展性のないことが目立ちました。しかし歌と踊り
の好きな国民であり、リズム感がよく発達し二才児でも音楽にあ
わせてツイストを踊ることができずし、いろいろのゲームを知
っており、グループでよく遊ぶことができます。視聴覚に訴えて

かし全般的に外界からの刺激が非常に少なく生活経験が乏しいこ
とは、感覚が発達し、経験によって種々のことを学ぶ幼児期には
かなり問題があるように思われ、私は滞在中でできるだけ彼らの生
活経験を豊富にし、視聴覚教材の充実をはかるために努力いたし
ました。自由な、歌や踊り、絵画製作、ごっこ遊びなどを通して
自己表現をさせ、情緒豊かな人間性の育成をめざすとともに、自
己の確立を助ける機会を与えなければならないことを痛感いたし
ました。

口 健康な生活

この国の幼児の栄養不足は大きな問題であります。ケニヤの子
どもたちは一見おとなしく忍耐がよく見えますが、一つはこの栄
養不足からくる無気力さであります。この問題が改善されない限
り、健やかな円満な人間の育成に大きな支障があることを感じま
す。栄養の不足は人格を崩壊するに至ると栄養生理学者がいつて
おりますが、特にケニヤのために愛をもつのは私だけではないと
思います。またもっと身体的運動的な欲求をみたすための設備を
ととのえ、食事・睡眠・清潔・排池・着衣等の基本的なよい習慣
を育成するために努力しなければならぬことを痛感いたしました。
そのため私のナースリースクールでは授業料のほとんどを給
食とおやつのために用い、健康のためのしつけを重んじ、子ども
たちの体位の向上、健康の増進、病気の子防のために全力をあげ、

またありあわせの材木、板片、古タイヤ、麻なわなどを用いて運動遊具を考案することにも努力いたしました。

ハ 幼児の興味

教材、教具、玩具が少ないことも一つの原因ですが、カリキュラムそれ自体に、子どもの成長発達とともに起こる興味を満足させる方向に幼児を導くことが少ない上に、おとなの側から教



グループで話し合い —YWCA ナースリースクール—

えようとす
る教字やア
ルフアベツ
トなどを強
制的に集団
的に教えよ
うとするこ
とが強く、
ナースリー
スクールは
楽しい遊び
の場所であ
るといふ
要素が少な
く、いきい

きと幼児が好奇心や興味を満足させる姿を見ることが少ないのは、何といっても問題に感じられました。しかしこれは、五才から小学校教育を受けるイギリスの教育の影響をうけていることも考えられると思いますが、知的にも社会的にも成長発達の盛んなこの時期の指導をあやまってはならないことを感じさせられます。

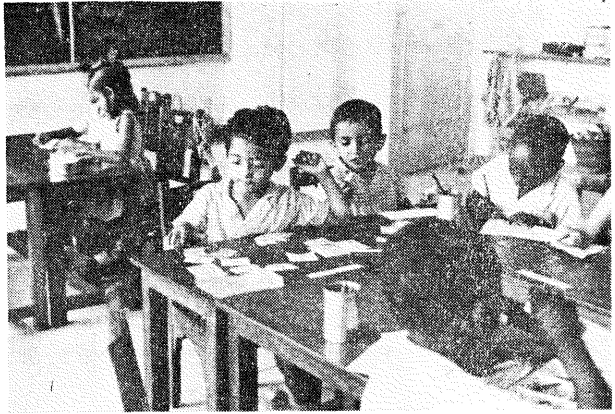
ニ 自由

またケニアの子どもたちは学校では非常に厳しいしつけを受けており、すべての行動はおとなの考える善と悪によって批判されることが多く、時には体罰を受ける子どもたちには、従順さと忍耐づよさはあるが自由さがなく、積極性もなく絶えず支配されている受身の態度が目立ちました。しつけは厳しくても、常に子どもの人格個性が重んぜられ個々の能力に応じてたくましく生きる力を養ってやらなければならないことをつくづく思わせられます。

ホ 言語生活

この国における幼児教育の大きな私の関心は、彼らの言語生活にあります。国語がなく各部族はそれぞれ異ったことばを用いており、私のナースリースクールでも、三種類のことばを用いる子どもが集っております上に、このナースリースクールの委員会の方針は英語で教育することになっておりました。

彼らのなかには巧みに、現地語と英語を使いわける子どももありますが、何といっても家庭で使用することばが彼らの遊びのこ



セントオースチンナースリースクール

彼らの社会生活の指導には、この言語が大きな役割を果たしており、子ども同士の争いの解決や順番を守ること、親切をすることなどを教えるためになんかいていでない苦労をしました。ことばのちがいは人間理解に大きな障害があることを感じさせられます。

三、結び

こうして私のケニヤにおけるモデルナースリースクールのイメ

とば、生活
のことで
あり、英語
で教育する
ことは多く
の問題を感
じましたが
結論を与え
られる程の
この点につ
いての研究
はなく指導
者もなく残
念でありま
した。特に

ージは、共に過した子どもたちの現実の姿から暗示と示唆を与えられ、子どもたちの現在の真の幸福な、あるべき姿と、さらに将来のケニヤを背おって立つ指導者の姿を夢みてえがかれてゆきました。イメージを頭の中にえがくことは簡単でありましたが、現実にはさまざまの難関に遭遇いたしました。アメリカの専門家とイギリス人の指導者たちと、アフリカの将来の指導者たちと私の日本人を加えて協力して一つの仕事をすることには多くの困難もありました。しかし、滞在中に多くの知己を与えられ、幼児教育にたずさわる同僚の友がかくも世界に多くあることを知り、何よりも力強く感じました。私が一か年仕事をしましたYWCAが二か年の保育者養成のためのコースをつくったのはケニヤ最初の試みであり、これに参加することができたことを感謝するとともに、多くのケニヤの幼児教育者のために講座をひらき、もっているものをわかちあい、共に幼児教育について考えることができたのは私の大きな喜びでありました。しかし、僅か一年では実際のことろ何もできなかったといった感じがつよいのであります。幸い、来年四月、彼地からの留学生を私の奉職する保育科に迎えることになりましたので、さらにもう一年、ケニヤのために奉仕をつづけることができることに期待と望みをかけて今後精進したいと願っている次第であります。

(北陸学院短期大学)